

横浜市がん検診事業の概要

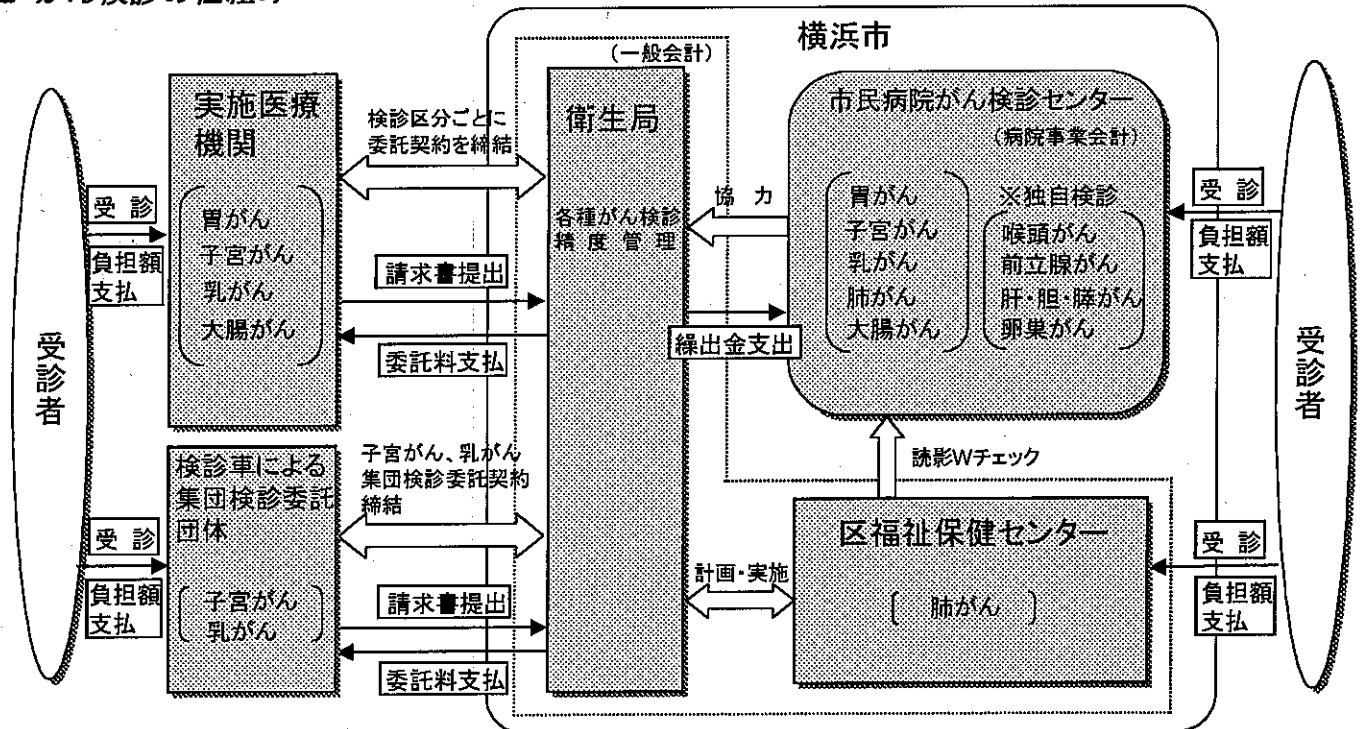
国における「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき、死亡原因の第一位であるがんを早期に発見し、適切な治療に結びつけるため、各種がん検診を福祉保健センター、民間の実施医療機関及びがん検診センターで実施しています。

1 検診区分と実施内容等

区分	対象	実施内容等	実施機関	受診者負担額 ※1	実施医療機関への委託料※2	平成14年度検診計画人員
胃がん	40歳以上	間接撮影	がん検診センター (施設検診及び付随診車)	1,230円	—	55,700人
		直接撮影	実施医療機関	2,450円	16,120円	
子宮がん	30歳以上	頸部検診のみ	検診車(委託)	880円	3,954円	100,100人
			がん検診センター	1,050円	—	
		体部検診含む	実施医療機関	—	8,680円	
			がん検診センター	1,990円	—	
乳がん	30歳以上	初触診	がん検診センター	400円	—	50,100人
			検診車(委託)	—	2,808円	
		初触診マンモグラフィ	実施医療機関	570円	3,850円	
			がん検診センター	1,080円	—	
			実施医療機関	—	7,230円	
マンモグラフィのみ	がん検診センター	510円	—			
実施医療機関	—	6,080円				
肺がん	40歳以上	間接撮影	福祉保健センター がん検診センター	580円	—	7,400人
		嚥痰検査含む	福祉保健センター	1,080円	—	
			がん検診センター	—	—	
大腸がん	40歳以上	便検査	がん検診センター	600円	—	65,700人
		実施医療機関	—	2,670円		
喉頭がん	40歳以上	間接撮影含む	がん検診センター	3,100円	—	12,500人
			がん検診センター	400円	—	
前立腺がん	40歳以上	血液検査	がん検診センター	1,600円	—	—
肝臓・膵臓がん	40歳以上	超音波、血液検査	がん検診センター	3,700円	—	
卵巣がん	30歳以上	超音波、血液検査	がん検診センター	3,500円	—	
計						291,500人

※1: 65歳以上の人、生活保護世帯、市・県民税非課税世帯、均等割のみ課税世帯は減免
 ※2: 受診者が実施医療機関に支払う負担額を含んだ額

2 がん検診の仕組み



市民病院 がん検診センター繰入金収支状況(平成13年度)

(単位：千円)

	金額	備考
収入	290,722	
一次検診	31,012	検診者数 36,846人
二次検診	259,710	検診者数 25,919人
支出	950,986	
給与費	568,839	医師、看護師、放射線技師等
材料費	161,928	薬品費、診療材料費等
経費	166,143	光熱水費、委託料等
減価償却費	26,102	建物、機械備品等
企業債利息	27,974	がん検診センター分
繰入金を含まない決算額	-660,264	
繰入金額	660,264	
繰入後の収支	0	